

◎ 評価対象分野・施策の方針

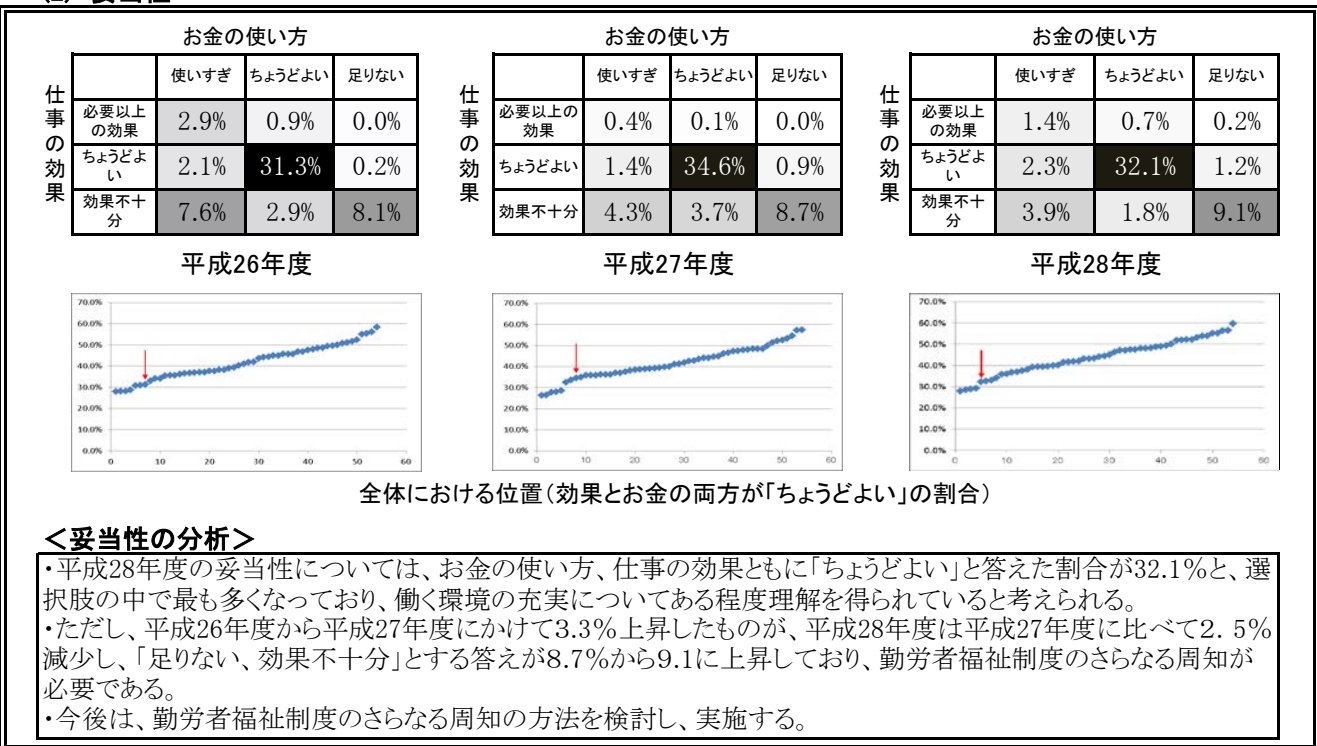
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	働く環境の充実
------------	----	-------	-------	---------

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	37.4%	平成27年度	39.9%	平成28年度	42.3%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成28年度	14.0%	33.2%	6.0%	46.7%	100.0%
平成27年度	16.0%	33.5%	4.7%	45.8%	100.0%
平成26年度	13.7%	33.2%	9.5%	43.6%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成28年度の目標

- ①引き続きスケールメリットを活かした福利厚生事業が提供できるように、藤沢市、茅ヶ崎市と連携して湘南勤労者福祉サービスセンターを支援する。(市民-25)
- ②中小企業の勤労者の生活安定、福利厚生の実現を図るため、湘南勤労者福祉サービスセンターに対する新規会員獲得に向けた支援に努める。(市民-25)
- ③市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進のため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に過不足なく資金を預託していく。(市民-24)

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
整理番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	事業内容	予算規模
市民-24	勤労者福利厚生事業	31,151	30,744	34,229	33,790	0.4	0.4	b	B
市民-25	勤労者福祉支援事業	25,619	24,450	28,697	27,496	0.4	0.4	b	C

(3) 主な実施内容

【主な実施内容】 ①中小企業従業員の福利厚生の実現が継続できるよう、湘南勤労者福祉サービスセンターの運営支援のため負担金を支出した。(市民 - 25) ②中小企業の勤労者の生活安定、福利厚生の実現を図るため、湘南勤労者福祉サービスセンターに対する新規会員獲得に向け、神奈川県市町村振興協会が実施する「市町村広域行政助成事業」助成金を活用して支援に努めた。(市民 - 25) ③中央労働金庫に資金を預託して勤労者生活資金融資を実施し、市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進を図った。(市民 - 24)
【実施できなかった事業とその理由等】

(4) 平成28年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等> ・藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結したことにより広域化が図られて会員数が安定し、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営が持続したため、中小企業従業員の福利厚生の実現が継続できた。 ・今後は、市の負担金が減少しても安定した湘南勤労者福祉サービスセンターの運営が持続でき、中小企業従業員の福利厚生の実現が継続できるよう、更なる会員数の増加を目指した取組について藤沢市、茅ヶ崎市とともに支援していく。			

3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

・中小企業従業員の福利厚生の実現を図るため、今後も、藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結して広域化を継続することにより、安定した会員数を確保して湘南勤労者福祉サービスセンターの持続的な運営を支援する。 ・湘南勤労者福祉サービスセンターの持続的な運営を支援するため、神奈川県市町村振興協会の市町村広域行政助成事業助成金を藤沢市、茅ヶ崎市とともに活用し、計画的な会員加入促進事業の検討を藤沢市、茅ヶ崎市、湘南勤労者福祉サービスセンターとともに取り組む。
--

4 平成29年度の目標

①市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進のため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に過不足なく資金を預託していく。 ②中小企業従業員の福利厚生の実現を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、広域化を継続して安定した会員数を確保することにより、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の持続を図る。そのために、会員加入促進事業の支援として神奈川県市町村振興協会の市町村広域行政助成事業助成金を藤沢市、茅ヶ崎市とともに活用するとともに、計画的な加入促進事業の検討を湘南勤労者福祉サービスセンターとともに取り組む。
--

5 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-25	事業名	勤労者福祉支援事業							
指標の内容	湘南勤労者福祉サービスセンターの会員数(鎌倉市内事業所分)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
中小企業従業員の福利厚生の実現に資するため。	目標値	2,800	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000			
	実績値	2,634	2,758	2,775						
	達成率	94.1%	95.1%	92.5%						
整理番号	市民-24	事業名	勤労者福利厚生事業							
指標の内容	勤労者生活資金融資の利用件数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
勤労者の生活資金融資により勤労者の生活安定に資するため。	目標値	24	24	24	24	24	24			
	実績値	27	24	20						
	達成率	112.5%	100.0%	83.3%						

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘

課題

・中小企業の雇用、福利厚生等に関する実態、市内中小企業への就労者の実態を把握し、市が行うべき支援の範囲を明確にすることが求められる。

・勤労者の福利厚生に関する市の役割は何か。相談、カウンセリングの対応のみでなく、それによって進める事業がないかを検討することが求められる。

・本施策について「湘南勤労者福祉サービスセンター」に関する取組しかないが、目標とすべきまちの姿への取組として、これだけで十分なのかが分からない。



指摘への対応、コメント等

今後も労働動態調査を継続し、市が行うべき支援について検討する。

中小企業勤労者の福利厚生の向上については、広域的に行うことが望ましいため、今後も負担金を交付することで「湘南勤労者福祉サービスセンター」の取組を支援する。

中小企業勤労者の福利厚生の向上については、広域的に行うことが望ましいため、今後も負担金を交付することで「湘南勤労者福祉サービスセンター」の取組を支援する。

提言

・引き続き、中小企業の勤労者の生活安定、福利厚生の充実を図るため、湘南勤労者福祉サービスセンターに対する新規会員獲得に向けた支援に努めていくべきである。

・労働動態調査の実施など過去からのデータの蓄積がされていることは、今後も行政資料として活かしていくべきである。

・会員にとって魅力的なコンテンツを提供すべきである。

・勤労者福祉分野での支援を受けている当事者の声を知りたい。指標に組み込み、目に見える形にすべきである。

・福利厚生に対する事業は、周辺都市と連携した取組がおこなわれており、行政の取組としては十分であることから、あとは事業主の責任において行うべきである。

・余暇を作るために事業主へ働きかける取組は必要かもしれないが、余暇をどうするかは自身の問題で、生涯学習については「生涯学習」の分野である。

・事業者や労働者にアンケートを実施して、満足度や問題点などを確認し、行政に何が求められているかを把握した上で事業を実施すべきである。

・相談・カウンセリングは行われているのか？その人数と解決数などを指標として設定すべきである。



提言に関するコメント等(総論)

引き続き、神奈川県市町村振興協会の市町村広域行政助成事業助成金を活用するなど、湘南勤労者福祉サービスセンターの会員加入促進事業を支援するとともに、満足度や問題点など何が求められているかを把握していくよう、また、会員にとって魅力的なコンテンツを提供できる事業内容となるよう、共に検討・協議を行なっていきます。労働動態調査の実施は継続して行ない、市内中小企業の就労者の実態の把握に努めます。また、労働相談や労働法律相談、就職支援カウンセリング等については、社会保険労務士や弁護士、キャリアカウンセラー等、専門家がっており、相談内容に対しては適切なアドバイスがなされていることを確認しています。

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

・鎌倉、藤沢、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結したことにより、広域化が図られ会員数が増加し、安定した運営ができた。
 ・湘南勤労者福祉サービスセンターを支援している鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市が共同で神奈川県市町村振興会の助成金を利用し、サービスセンターへ会員獲得のための事業を実施したことで、新規会員増加につながった。

評価の内訳						⇒	委員会の評価
取組	↗	1	↘	1	→	6	→
効果	○	1	△	0	—	7	—

《課題》

・「働く環境の充実」を実現させるための実質的な取組は「湘南勤労者福祉サービスセンター」に一任しているという印象をもった。外部委託自体は悪いとは思わないが、センターの活動・取組は具体的にない。
 ・市税を中小企業の福利厚生に充てた以上、その満足度、効果を市が把握していることが求められる。
 ・引き続き、中小企業の勤労者の生活安定、福利厚生の充実を図るため、湘南勤労者福祉サービスセンターに対して新規会員獲得に向けた支援に努めていく必要がある。
 ・「中央労働金庫に資金を預託して勤労者生活資金融資を実施し、市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進を図った。（市民-24）」とあるが、融資は借金であり、借金による対応はあくまで一時的なものでしか無いため、「勤労者の生活安定」と「福利厚生増進」については新たな取組が必要である。
 ・労働動態調査の実施など過去からのデータの蓄積がされていることは、今後も行政資料として活かしていくべきである。
 ・「目標とすべきまちの姿」に掲げられている「市民の雇用や労働に対しての不満やストレスは本市の相談・カウンセリングにより対応されています。」「勤労者は余暇を活用して生涯学習などを生活に取り込んでいます。」について、年度目標や取組はあるのか。

《提言》

・「勤労者生活資金融資」（利用者20名）は低利の消費者金融に見える。福祉的理由であれば社会福祉協議会「生活福祉資金融資制度」がある。耐久消費財購入等に自治体が低利融資を行うべきなのか検討してほしい。
 ・「湘南勤労者サービスセンター」の加入会員数2,775名（加入事業者数：460）の実績を指標としているが、対象の全事業者数に対する加入進捗率を取り上げるべきである。
 ・今後の方向性として「市内の企業が求めている人材と、市内の求職者とのマッチングを促進するため、平成29年度は市内の企業が求めている人材のニーズ調査を実施し、その結果を基に平成30年度以降の雇用支援事業の個別の事業を検討する。」としているので、次年度の評価シートには調査結果に基づく検討結果を明記して頂きたい。
 ・「今後は、市の負担金が減少しても安定した湘南勤労者福祉サービスセンターの運営が持続でき、中小企業従業員の福利厚生の充実が継続できるよう、更なる会員数の増加を目指した取組について藤沢市、茅ヶ崎市とともに支援していく。」としている。会員数何人以上になれば負担金がどの位減少するのかを明確にして目標を立て、指標として設定すべき。

《質問》

「湘南勤労者サービスセンター」に対する支援金額はいかほどか。他自治体居住者を含めての支援か。会員に提供している「複利厚生サービス」の内容は何か。